

「豪商のまち松阪」中心市街地土地利用計画 素案 意見募集（パブリックコメント）のまとめ

実施期間 平成29年1月5日 から 1月27日
 ご意見をいただいた件数 11件（個人10件、団体1件）
 受付方法 （窓口5件、電子メール4件、郵送2件）

「豪商のまち松阪」中心市街地土地利用計画 パブリックコメント 一覧

番号	ページ	意見	市の考え
1	全般	この計画はどのように決定されるのか。	パブリックコメントの終了後には、市のホームページで市の考えを示させていただくと共に2月18日に全体説明会を開催していきます。これらの意見を精査し、5月末の完成に向けて進めていきます。 また、広報、ホームページ等で市民のみなさんに計画に対するご理解を深めていただけるように努め必要な場での報告を随時行っていきます。
2	全般	広報を見ただけでは、この素案がどうというものかわからない。素案への意見を広報で求めたから、市民の意見は聞いたというのは違うと思います。本当の意味でしっかり市民の意見を聞いて計画してほしい。	パブリックコメントの終了後には、市のホームページで市の考えを示させていただくと共に2月18日に全体説明会を開催していきます。これらの意見を精査し、5月末の完成に向けて進めていきます。 また、広報、ホームページ等で市民のみなさんに計画に対するご理解を深めていただけるように努め必要な場での報告を随時行っていきます。
3	全般	市の施設特に庁舎の今後の計画、再配をこの計画書の主体とするようなもの(そのように感じられる)であるならば中心市街地の市業務施設等計画にしたほうが市民がわかりやすく受け入れられるのでは。	本計画は中心市街地における、公共施設の配置を中心とした土地利用計画であり、市役所庁舎のみならず、広く市民の利用に関わる施設等の配置について検討を行っていることから中心市街地土地利用計画としております。
4	2	検討委員会及び庁内作業部会などこの計画を作成された人の役職氏名を明確に明記されたい(東京都の豊洲の責任問題など)。	本計画書への記載に向けて検討していきます。
5	3	1. 少子化に歯止めをかけるようにして子育てをしやすい環境にしていき、保育所の増設や、子供手当を増やすことを考えてもらいたいです。 3. 人口増加のために、大企業の誘致をして、多くの雇用促進を考えていきたいです。 5. 人と人とのつながりがうすくなってきているのでその原因としては、スマホの普及や、高学歴化、核家族化、晩婚化などが挙げられている。人と人とのつながりがうすいと、あいさつができなくなり知り合いがなくなって困ります。人と話ができなくなると犯罪のもとになります。人と人とお互いに声を掛け合うと犯罪を防ぐことになります。必ず人との出会いには声を掛け合うと元気になる活気づきます。	平成28年度に策定した「松阪市総合計画～住みやすさ進行中！ バージョンアップ松阪～」に掲げた10年後の将来像「ここに住んで良かった・・・みんな大好き松阪市」をめざし、“子育てがしやすい”“安心して生活ができる”“働く場所がある”まちづくりをめざして、関係する部局において取り組んでいきます。
6	12	現況の説明として駐車場の分布が示されており、また35ページにおいても「市民ニーズの高い駐車場の整備」が挙げられているが、駐車場が足りない根拠が住民ニーズの意識調査のみであり、具体的な数値が全く挙げられていない。駐車場が不足しているのならば少なくとも以下の調査や施策が必要ではないか。 ・現状分布している駐車場の利用時間や利用率の調査 ・現状の改善として混雑状況表示、周辺駐車場への誘導等による利用の平準化 ・整備計画における必要台数の算定、整備面積の設定	市役所の駐車台数は、本館南側100台、本館北側80台及び第1別棟西側30台の計210台（内公用車用80台）です。来庁者用の本館南側駐車場は誘導員2名（外部委託）により場内整理を行っていますが、各種申請手続時期、休日明け等は満車となることがあります。 ・来庁者用駐車場（100台）の混雑調べ（平成28年10月～平成29年1月） 満車となり他の駐車場へ誘導した回数（月平均）：6回程度 満車となった延べ時間数（月平均）：27時間程度 ・現在、満車時においては誘導員が状況に応じて本館北側駐車場へ誘導しています。 ・整備計画においては、来庁者用駐車場として立地条件が優れた翠松閣用地（約850㎡）を検討していきます。25台程度の駐車が可能。

7	16	<p>これ以上人口が減らないようにすることを考えてもらい、第一次ベビーブームや第二次ベビーブームのような社会にはもどらないのか？逆に人口が増えるような社会に戻ってほしいです。ともかく、独身者を集めて早く結婚できるようにしてほしいです。人口が減っていくと生産者が落ちていきます。スポーツの大会も減り経済も落ちていきます。</p>	<p>松阪市の人口は、このまま推移した場合には2060年に約10万8千人まで減少すると予測されています。人口減少に歯止めをかけるには、自然減と社会減の両方の対策が必要で、平成28年3月に策定した「松阪市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、“定住促進”“少子化対策”“雇用創出”“地域づくり”の4つの重点プロジェクトを展開し、少子化と人口減少を克服し、将来にわたって活力ある地域を維持していくための取り組みを進めています。</p>
8	30	<p>4) 「市民にとって使いやすい市役所づくり」として駐車場をはじめとして不便さの意見が多いとあるが、道路交通から見れば現在の市役所付近は駐車場だけでなく周辺道路も混雑するのでそれほど訪れやすいとは言えないのではないか。利便性を考えるのであれば駅付近にワンストップ窓口が出来るのであれば市役所が中心市街地に立地する必要はなく、例えば分庁舎などから松阪中央病院の付近に移転すれば道路交通のアクセス環境は大きく向上するのではないか。</p>	<p>市役所は、市内全域や市外からも多くの方が来庁していただく施設であり、公共交通機関の利用しやすい場所が望ましいことから、現在地での存続を計画しています。</p> <p>アンダーパス開通によって市役所周囲の車のアクセスは向上しているかと感じられます。</p> <p>市役所・松阪公園周辺において、市役所を訪れる方、観光で訪れる方々が便利に利用できる駐車場の整備を検討していきます。</p>
9	31	<p>○史跡松坂城跡整備基本計画①松阪市のシンボルづくりについて “四五百の森に本居宣長ノ宮、本居宣長記念館、本居宣長旧宅を集約、一体化して宣長大人(のりながうし)顕彰のメッカと成す” どこの市町に限らず街ににぎわいをもたらしているのは観光客です。全国の有名観光地は温泉、景勝地等を擁する所を除けば有名社寺が観光の目玉となっています。</p> <p>宣長大人を祀る本居宣長ノ宮には全国各地より多数の参詣者(宣長ファンが多い)が訪れますが幸い記念館、旧宅が隣接しているため観光客にはあらゆる面で便宜を図る事ができており、いわば四五百の森と記念館の一带は宣長大人顕彰の中心地となっています。</p> <p>そのような施設を分散(記念館、旧宅の移設)することは観光客へのサービスを著しく阻害する要因となることのみならず昨今市民にも最も欠落していると思われる大人(うし)に対する尊崇の念をより一層鈍らせることにもなりかねず好ましい事ではありません。</p>	<p>特別史跡本居宣長旧宅(以下、旧宅)は松阪市が所有し、その管理機能は本居宣長記念館(以下、記念館)が有しています。将来、記念館が老朽化して建て替えが必要となった場合、史跡松坂城跡保存管理計画に記載があるように、地下遺構に影響を及ぼす耐震や補強工事は認められないことから、建て替えは不可能です。従いまして、記念館は建て替え時に城外へ移転せざるを得ず、それに伴い保存管理の観点から旧宅も併せて移築するという計画です。旧宅の移築先については、特別史跡を所管する文化庁へ確認し、特別史跡本居宣長宅跡以外の選択肢は考えられないと指導を頂いています。</p> <p>松阪を訪れる本居宣長ファン等の観光客が、魚町の旧宅周辺から四五百森の本居宣長ノ宮、松阪神社まで大きく周遊することとなることは、各施設の連携により大きなプラスに転じることができると考えています。その上で、観光交流拠点(本館)などの整備により、松阪市の総合的な観光情報を魅力的に発信するとともに、観光客へのサービス・ガイダンス機能の強化を図っていきます。</p>
10	32	<p>4) 史跡松坂城跡整備基本計画 本居宣長記念館、鈴屋が城跡から姿を消すと、観光資源としての松坂城跡の魅力は大きく低下すると思う。松阪地域を活性化していくため、「豪商のまち」を象徴するランドマークとして、徳川陣屋(二の丸御殿)を復元できないか。</p>	<p>史跡松坂城跡につきましては、平成24年3月に「史跡松坂城跡保存管理計画書」を、平成28年3月には「史跡松坂城跡整備基本計画書」を策定し、現在、これらに従って松坂城跡の整備を進めているところです。</p> <p>史跡内の建物の復元につきましては、外観や平面が明らかな資料とともに発掘調査による遺構調査の成果を揃えた上で、検討を重ねることとなります。徳川陣屋は明治10年に焼失しましたが、平面図と数点の写真が残されています。しかし、二ノ丸南半分を占める大規模な建物であったことから、数点の写真では全貌は明らかではありません。</p> <p>そのようなことから、現在、徳川陣屋の復元は「史跡松坂城跡整備基本計画書」に記載していません。しかし、史跡松坂城跡の魅力を高めていくことは必要と考えており、現在は樹木の伐採による眺望景観の向上とともに安全性の向上を図っていきます。</p>
11	35	<p>現状の駅前駐車場は市民からのニーズも非常に高いことから、商業施設等の設置に伴って安易に駐車台数を削減したり、利便性を損なうことがないように配慮することが必要だと考えます。</p> <p>また、今後は環境問題の観点からもパークアンドライドを推進するような施策や施設整備を並行して行い、街づくりとの調和を図っていく必要があると考えます。</p>	<p>駅西地区の駐車場については、駅を利用する方の利用状況が非常に高いと見受けられるなかで、駐車台数の維持や駐車場から駅までの利便性が損なわれないように検討していきます。</p> <p>また、パークアンドライドについての施策などについても、調査研究を行っていきます。</p>

12	35	<p>「1 松阪駅西地区」の複合施設化について（反対）</p> <p>月極契約者もいて、活用されている駐車場をなくしての複合施設については、反対である。松阪の観光・集客率の低下につながりかねない。</p> <p>複合施設を作るのであれば駅ロータリーの整備も同時進行しなくては意味がない。</p>	<p>駅西地区の複合施設については、駅周囲の駐車場が利用状況が高いと見受けられるなかで、駐車台数の維持、駅ロータリー整備も含めて検討していきます。</p>
13	35	<p>「1 松阪駅西地区」駅前の開発について</p> <p>コンビニで証明書なども取れるようになる時代に市役所の出張所などはいらない。車の時代に駅前の建物に行く人はいない。駅前がさみしいだの、みっともないなどの感傷的なことより、これからの時代のことを考えると、余計なことにお金を使ってほしくない。</p>	<p>駅西地区における複合施設については、行政窓口機能を検討するなかで、証明書発行のみだけでなく、時間外窓口等のサービスについても市民ニーズに応えていきたいと考えております。</p> <p>駅は鉄道網の利用だけでなく、交通網の拠点としての機能を有することから、人が集うに有利なこともあり市民活動の活性化の場となるよう検討していきます。</p>
14	35	<p>「市民活動センターは継続。産業支援機能を図る」。について。</p> <p>「働くとは『カセギ』と『ツトメ』であり、『カセギ』とは経済的自立、『ツトメ』とは社会参画、社会貢献と考えます。市民活動センターは主にツトメを推進する役割があり、記載の「産業支援機能」は「カセギ」の意味があると理解しました。このカセギとツトメの両輪をバランスよく廻すことこそが、信頼から利益を得る豪商のあり方（豪商マインド）と考えます。2つの機能を同じ施設に居住させるのは、松阪らしさをアピールしていく上で非常に有効であると感じます。企業に向けては、市政に参画し公益的活動に理解ある「ツトメの企業（社会貢献企業など）」の企業を推進し、市民活動に向けては、持続可能になるために適切な財源を得る「カセギの市民活動（コミュニティビジネスなど）」の推進となります。ぜひ、双方の施設とも、様々なセクターが行き来できるよう敷居の低いものにしていただき、産官学民が連携・協働しやすい環境を整えていただければと期待しています。いずれは双方が前向きに融合し、施設自体も「地域活性化センター」のような公的施設になることで個人や企業などの民間の活力も活かされればと願っています。また、産官学民の「民」を表すときに、P3に並べて表記していただいているように「住民協議会・市民活動」の「地縁・志縁」のコミュニティについてさらに強化していただくことでよりよい地域づくりの担い手が増えればと願っております。ぜひ市民が幸せに暮らせるための基盤づくりにこのまま注力いただきますようよろしくお願いいたします。</p>	<p>産官学民の連携・協働も意識し、市民自らが生活の質向上と地域貢献のために集い活動することができるよう引き続き取り組んでいきます。</p>
15	35 ①	<p>関連として駅西地区と三交百貨店跡地が別々に挙げられているが、両者は現在の松阪駅を挟んで隣り合っており、駅を中心にした広い用地を確保できるのであれば別々ではなく駅を含めた一体での開発も視野に入れてはどうか。</p>	<p>関連する施設の相互で調整を図り利便性が高まるよう検討していきます。</p>
16	35 ②	<p>関連施設の配置として本居宣長旧宅の本居宣長宅跡への移築が挙げられているが、現状本居宣長旧宅がある松坂城跡の扱いはどうなのか。何か別の計画で整備するのであれば触れておくべきではないのか。</p>	<p>本計画は施設の配置を中心とした土地利用計画であることから、各施設の個別の整備については記載いたしません。史跡松坂城跡につきましては、平成24年3月に「史跡松坂城跡保存管理計画書」を、平成28年3月には「史跡松坂城跡整備基本計画書」を策定しており、これらに従って松坂城跡の整備を進めていきます。</p>
17	35 ③	<p>まちなか回遊ネットワークと書かれているが、具体的な記述がなく40ページの全体像では「舗装の整備」「まちなみ整備」などが読み取れるが、歩いて回遊することを前提とするなら交通規制なども考える必要があるのではないのか。</p>	<p>まちなか観光を支援する歩行者空間の整備を検討するなかで、必要に応じて関係部局において交通規制についても検討していきます。</p>
18	36	<p>「8 プラザ鈴」の駐車場化について（反対）</p> <p>講座の移転先が不明確である</p>	<p>プラザ鈴の講座については、施設を閉館し解体することによって終了します。</p> <p>講師、講座生の方には説明会を開催させていただきました。各講座については意向を確認しながら、地域の公民館等の趣味クラブやサークルとして活動していただけるよう調整を行っていきます。</p>

19	36	<p>「9 本居宣長宅跡」</p> <p>本居宣長旧宅の移築について、火災が起きれば、貴重な財産を失うこととなります。元の場所には石碑のみにし、後世に残すためにも現在の位置に留めて置いて欲しい。</p>	<p>特別史跡本居宣長旧宅（以下、旧宅）は松阪市が所有し、その管理機能は本居宣長記念館（以下、記念館）が有しています。将来、記念館が老朽化して建て替えが必要となった場合、史跡松坂城跡保存管理計画に記載があるように、地下遺構に影響を及ぼす耐震や補強工事は認められないことから、建て替えは不可能です。従いまして、記念館は建て替え時に城外へ移転せざるを得ず、それに伴い保存管理の観点から旧宅も併せて移築するという計画です。旧宅の移築先については、特別史跡を所管する文化庁へ確認し、特別史跡本居宣長宅跡以外の選択肢は考えられないと指導を頂いています。</p> <p>移築に際しましては、特別史跡であることから防火を含めた防災対策を講じることは必須であり、十分に検討していきます。</p>
20	36	<p>「13 翠松閣用地」の駐車場化について（賛成）</p> <p>市役所周辺の慢性的な駐車場不足解消につながる</p>	<p>市役所の駐車場が不足している、狭いという住民ニーズ調査等の結果や、各種申請手続時期、休日明け等は満車となることがあり、駐車場の整備を検討していきます。</p>
21	36	<p>「16 松阪公園プール」の駐車場化について（反対）</p> <p>毎年行われている記録会の会場が未決定である</p>	<p>記録会の会場につきましては、関係機関と協議を行い検討していきます。</p>
22	36	<p>「17 福祉会館」の駐車場化について（福祉会館が松阪公民館に移転なら賛成）</p> <p>松阪公民館駐車場は、宣長記念館や松坂城址への観光客も利用しているので、台数が少ない。</p>	<p>福祉会館は松阪公民館へ移転した後、跡地は駐車場として活用することを検討していきます。</p>
23	36	<p>「18 松阪公民館」改修後の市福祉会館としての活用について（賛成）</p> <p>現在の福祉会館は、2階への移動が階段しかなく、またその階段付近が薄暗い為、福祉という名前だけで、障がい者への優しい建物ではない。身体障がい者だけでなく、薄暗さは自閉症等、精神的障がい者への不安につながる。</p>	<p>福祉会館は、地域福祉活動の拠点施設として本来の機能が果たせない状況となっていることから、松阪公民館が移転した後に、福祉会館としての機能を果たすための改修を行い、新たな福祉会館として施設を有効活用していきます。</p>
24	36	<p>「18 松阪公民館」の移転について</p> <p>マームへ移転することはいいことだが、今の建物の一部に分館として残せないか。1階部分だけ福祉会館とシェアするなどはどうか。今、公民館を利用している人は高齢者が多く、徒歩か自転車で通っていて、バスを通すからと言われても、行かない人が大部分になるでしょう。</p>	<p>松阪公民館の機能を民間商業施設へ移転し、福祉会館の機能を松阪公民館跡を改修して移転することを検討しております。福祉会館の機能を松阪公民館跡の施設に移設した際には余裕がなく、一部を公民館機能として使用することは困難であると考えております。</p> <p>松阪公民館を利用する方の約5割の方が、自家用車で来館されるなかで、駐車場が不足している状況です。</p> <p>徒歩または自転車をご利用されている方々には、遠方でご不便をおかけすることになる事もあるかと思われそうですが、公共交通機関等をご利用頂きたいと考えております。</p>
25	37	<p>公共施設には道路、下水道も計画を含めて計画すべき</p> <p>特にここにすんでよかったと思うためにも近隣公園等を法律で定められた分を少なくとも配置されたい。</p>	<p>道路や下水道については、全市的な計画になるため、今後、都市計画マスタープランの見直し等で検討していきます。</p>

26	40	<p>本居宣長旧宅と本居宣長記念館は、現状の城跡のままでよい。本町、魚町は現在の施設のみで十分で、宣長に興味を持った人は松坂城まで足をのばすと思う。お金の使い方の順番が違わないか。学校のエアコンやトイレ、横断歩道の白線など、子供たちや住民の安全等に使ってほしい。</p>	<p>特別史跡本居宣長旧宅（以下、旧宅）は松阪市が所有し、その管理機能は本居宣長記念館（以下、記念館）が有しています。将来、記念館が老朽化して建て替えが必要となった場合、史跡松坂城跡保存管理計画に記載があるように、地下遺構に影響を及ぼす耐震や補強工事は認められないことから、建て替えは不可能です。従いまして、記念館は建て替え時に城外へ移転せざるを得ず、それに伴い保存管理の観点から旧宅も併せて移築するという計画です。旧宅の移築先については、特別史跡を所管する文化庁へ確認し、特別史跡本居宣長宅跡以外の選択肢は考えられないと指導を頂いています。</p> <p>移築に際しましては、特別史跡であることから防火を含めた防災対策を講じることは必須であり、十分に検討していきます。</p> <p>本計画は、20年後の中心市街地の将来像を考えるなかで公共施設の配置について計画しております。現状の課題・問題点については、関係する部局で対応していきます。</p>
27	40	<p>駅西の開発について、駅周辺に駐車場がたくさんでき、駐車料金が安くなりありがたいため、その駐車場が狭くならないようにしてほしい。また、百貨店などがなくなり、食料の調達がとても不便。複合施設にそういった店舗を入れてほしい。交番や観光情報センターもその施設に入れて、送迎の車のスペースを広げてほしい。</p>	<p>松阪駅西地区の複合施設については、駅周辺の駐車場が利用状況が高いと見受けられるなかで、駐車台数の維持、利用者のニーズや利便性の高い整備を検討していきます。</p>
28	40	<p>駅前全体を創造するという視点が見られないように思う。三交百貨店の跡地や他のビルなども含めて考えて、駅前を訪れる消費者にワクワク感をもたらせられないか。松阪駅前の顔つきで、松阪の印象はすこぶる変わります。この素案をたたき台にしてより具体性のある計画にしていきたいと切望する。乗降客、住民、商店、企業などすべてを巻き込む計画が必要だと思う。</p> <p>持論だが、「いかにして松阪駅前により多くの老若男女を集め、滞在時間を長くするか。それはいかなる手法で実現することができるか」がある。そのためには駅前各エリアの個性化を図り、三方よし（売り手よし、買い手よし、世間よし）の精神で様々な参画者に説明して理解して協力を取り付ける努力が求められる。自主性が大原則だが、すべてを任せただけでは収集がつかなくなる。基本的なスタンスは事務局サイドであらかじめ決めるべきで、反対意見を説得した上のものでなくてはならない。筋道だけはしっかり通し、市民や事業者に枝葉をつけてもらうのが好ましい進め方である。</p>	<p>市民が暮らしやすく住み続けることができ、誰もが訪れやすく魅力を感じることができまちづくりを実現できるよう、民間の資金とノウハウを活用した事業手法等についても調査研究を行い検討していきます。</p>
29	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・国学の道、豪商の道、武将の道以外に観光ボランティアが案内する食事などを含めたコースを設定できないか。 ・松阪が、テレビでよく紹介されている今は、10年・20年先を見るより、今を見て、今必要なことから整備する方が先決ではないか。観光雑誌片手に道に迷っている人を見た。看板の設置が必要と思う＝丁寧すぎると感じる説明で丁寧だと思う。 <p>ホテル宿泊者の中に、時々、レンタカーを借りて松阪・伊勢・二見・志摩を観光している人がいる。ホテル宿泊時の駐車場の確保が必要。</p>	<p>モデルコースのご提案を頂きましてありがとうございます。今後の観光政策を進める上で貴重なご意見ですので、参考にさせていただきます。</p> <p>観光に訪れる方々がわかりやすく観光してもらえるような、サインパネル等の表示について検討していきます。また、観光客の方々が多く宿泊されるであろう駅西地区の駐車場については、駅西地区の複合施設と調整を図って検討していきます。</p>